

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅲ-4-1 多様な自然の保全
---------	------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	林業課長 桑本 幸夫	電話番号	0852-22-5167
----------	------------	------	--------------

事務事業の名称	水と緑の森づくり事業		
目的	(1) 対象	県民	
	(2) 意図	荒廃森林を緑豊かな森へ再生させるとともに、緑豊かな森づくりへの県民参加を促進し、森林の様々な恵みを受受してもらう	
事業概要	緑豊かな森の再生：荒廃森林を緑豊かな森へ再生するため、県民に対し、「水と緑の森づくり税」を財源として、不要木の伐採や広葉樹の植栽等に対し交付金を交付する。 県民参加の森づくり：県民に積極的に森を保全する取り組みや森を利用する取り組みに参加してもらうために、公募型の事業や情報提供などを行う。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	累計整備面積	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		5,600	6,300	7,000	7,700	
式・定義	県民再生の森事業により整備された森林面積		実績値	5,053	5,774	6,482	7,197		ha
			達成率		103.1	102.9	102.8		%
指標名			年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00			
式・定義			実績値	0.00	0.00	0.00			
			達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	193,244	205,479
うち一般財源(千円)	193,244	205,479

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

目標を上回る7,197haの整備を行うことができ、荒廃した森林の再生を行うことができた。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

新しい事業メニューとして「森林境界確認」を加え、森林の境界確認にかかる経費を助成し不要木伐採を実施しやすくなった。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

該当無し

②困っている状況が発生している「原因」

該当無し

③原因を解消するための「課題」

該当無し

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

県民に森林のさまざまな恵みを受受してもらうため、引き続き、荒廃した森林を緑豊かな森林へ再生させる。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）